

医療圏別具体的対応方針等検討状況整理票

整理番号	区域	医療機関名	許可病床数 (精神・感染症・結核除く) R3.7.1 ※1	病床機能報告による 機能別病床数 ※1		施設基準の 状況 R3.7.1 ※2	認定・届け出等 ※3					「公的医療機関等2025プラン」又は「医療機関2025プラン」の記載内容のうち、「自施設の現状」「今後の方針」「4機能ごとの病床のあり方について」から集約・抜粋(プラン未作成の有床診療所については、病床機能報告の報告内容から整理) ※4	「具体的対応方針の見直し・検証」及び「構想区域全体の2025年の医療提供体制の検討」の検討結果 ※5												
				R3.7.1	R7.7.1		地域医療支援	救急医療施設	在宅療養支援	在宅療養後方支援	終末期医療		病院の特徴・役割	今後の方針	機能別病床数(2025)	変更あり	変更なし	検討中	具体的な変更内容等						
																				高度急性回復	高度急性回復	慢性	慢性	慢性	慢性
1	下関	国立病院機構 関門医療センター	400 一般 400	400 高度急性回復 30 267 103	400 高度急性回復 30 267 103	103 地ケア 103	○	◎	○									・患者ニーズの動向に合わせ、高度急性期(救命救急センター・ICU)、急性期(一般7対1)、地域包括ケアの3つの病床機能分化を進め、地域医療に貢献している。 ・下関医療圏は地域医療構想の中間報告において、4つの中規模病院(当センター、下関市民病院、済生会下関病院、下関医療センター)の再編を行うことが示されており、今後、その実現に向けて関係者と協議を行う。	400 高度急性回復 30 267 103						
2	下関	豊北病院	58 療養 58	58 慢性 58	58 慢性 58														・慢性期機能を担う。 ・他病院との連携・提供体制を維持していく。	未定					
3	下関	済生会下関総合病院	373 一般 373	373 高度急性回復 124 249	373 高度急性回復 124 249		○	○											・高度急性期・急性期機能を有する県西部の基幹病院としての役割を担っている。 ・地域がん診療連携拠点病院、地域医療支援病院、ドクターヘリ患者受入ヘリポート、災害拠点病院。 ・小児救急医療拠点病院・地域周産期母子医療センターとして、小児・周産期医療の中心的な役割を担う。 ・第二次救急病院群輪番制病院として救急搬送を積極的に受け入れており、特に産婦人科・小児科の救急については、他病院より多く受け入れている。 ・高度急性期、急性期の診療を引き続き継続し地域の基幹病院としての役割を担う。 ・小児診療の充実周産期医療の基幹病院としての役割を担う。 ・3次救急の対応、救急救命センターの設置。 ・質の高いがん治療の提供(地域がん診療連携拠点病院の指定維持)。 ・地域住民の健康を守る。 ・無料低額診療(なでしこプラン)の推進。 ・病連携、病診連携の更なる強化。	373 高度急性回復 126 247					
4	下関	昭和病院 (現:よしみず病院)	338 一般 164 療養 174	338 回復慢性 160 178	391 回復慢性 158 233	114 回リハ 54 地ケア 60				○									・独居・認知症高齢者の医療ニーズの増加に対応。 ・回復期リハビリテーション、在宅サービス、後方支援機能の一層の強化。 ・神経難病患者・人工呼吸器装着患者の受け入れ拡大、在宅療養困難者の増加への対応。 ・医療法人社団豊開会との法人合併に伴い、豊開会記念病院より療養病床53床を移管することについて、R2.1.28の調整会議において合意済。 ・今後とも回復期リハビリテーションをはじめ、通所リハビリや訪問リハビリ等の在宅サービスの充実を一層進めていく。また、亜急性期救急患者の受け入れなど、後方支援病院としての機能充実を図り、地域包括ケアシステム構築の一翼を積極的に担っていく。 ・当院はこれまで、神経難病患者や人工呼吸器装着患者など、在宅療養の困難度が高い専門医療分野の患者を多く受け入れており、今後もその要請に一層応えていく。	391 回復慢性 158 233					
5	下関	岡病院	92 療養 92	92 回復慢性 46 46	60 回復慢性 46 14	46 地ケア 46				○									・回復期機能と慢性期機能を担う。 ・急性期を過ぎた患者様や自宅療養が困難な患者様の受け皿として、地域における回復期機能の一翼を担う。 ・地域の方々の健康のため、地域に密着したかかりつけ医として、治療だけでなく、健康診断などを呼びかけ、予防医療にも貢献していく。	60 回復慢性 46 14					
6	下関	桃崎病院	122 療養 122	122 慢性 122	122 慢性休棟 90 32														・慢性期機能を担う。 ・急性期治療を終えたものの、在宅復帰のためのリハビリや医療処置の継続が必要な患者を受け入れ、療養型でも回復期リハ病棟に近いレベルのリハビリサービスを提供し続けていく。 ・地域住民の重症ではない病状変化に対する時間外を含めた入院対応の拡大、自宅在宅患者の訪問診療と看取りの強化。	90 慢性 90					
7	下関	下関市立市民病院	376 一般 376	376 高度急性回復 10 292 74	376 高度急性回復 10 292 74	54 地ケア 54	○	○	○										・高度急性期・急性期機能を担う地域における中核病院の一つである。 ・がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病、救急医療、災害医療に力を入れ、下関医療圏の中核病院としての役割を果たしている他、在宅医療の普及啓発に努めている。 ・施設基準に基づき地域連携診療計画書を作成し、転院・退院後の治療を担う地域連携機関との間で共有・活用し、地域の患者の治療を総合的に管理している。 ・引き続き、急性期医療を担う下関地域のの中核病院として、地域の医療機関及び下関市と連携し、地域医療はもとより、市民のニーズに応じた救急医療及び高度医療等を提供する。	550 高度急性 250 300					
8	下関	下関リハビリテーション病院	165 療養 165	165 回復 165	165 回復 165	165 回リハ 165													・リハビリ専門病院(当然、脳血管リハビリ・運動器疾患リハビリ・廃用リハビリを実施。それ以外に心臓リハビリ・脊髄損傷・パーキンソン病LSVTも積極的に実施。) ・在宅でリハビリが必要な方が多くいるため当院では在宅からの対象外の受け入れの必要性がある。当院では外来リハ、訪問リハ、通所リハを積極的に行っており、今後も継続して行っていく。 ・急性期からの早期受入を行う。	165 回復 165					
9	下関	下関市立豊田中央病院	71 一般療養 60 11	71 回復休棟 60 11	71 回復 71	15 地ケア 15				○									・下関市北部地域(菊川町、豊田町、豊北町)の山間へき地・過疎地域における一般医療を提供している。 ・24時間救急医療体制を維持し、不採算となる夜間休日の医療サービスを提供している。 ・保健・医療・福祉の連携による地域包括ケアシステムの構築を推進している。 ・下関市北部地域の山間へき地・過疎地域において、引き続き、市が良質な医療サービスを提供するとともに、24時間救急医療体制を維持し、不採算となる夜間休日の医療サービスを提供していく。 ・また、退院から在宅支援まで地域と一体となり、保健・医療・福祉の連携により山間へき地・過疎地域における地域包括ケアシステムの構築を推進していく。 ・回復期機能を備えた病床機能の充実していく。	71 回復 71					
10	下関	前田内科病院	43 療養 43	43 慢性 43	43 慢性 43														・入院透析中心。 ・透析患者とその家族の高齢化等により通院困難な透析患者の増加が見込まれる中で、透析ができかつ長期入院が可能な療養病棟の役割は大きい。	43 慢性 43					
11	下関	王司病院	177 療養 177	177 回復慢性 60 117	177 回復慢性 60 117	60 回リハ 60													・回復期機能と慢性期機能を担う。 ・下関市内や山陽小野田市を含めた総合病院からの受け皿として、当院の役割を明確にし、それに合った病院機能を備える。 ・地域のクリニックとの繋がりを強化し、病診連携を図ることで地域医療へ貢献する。 ・在宅復帰のための援助及び住み慣れた場所で生活するための支援。通所リハビリ、訪問リハビリ、訪問介護など介護サービスの提供及び介護予防支援を行い、法人全体で地域の健康増進を図る。	177 回復慢性 60 117					
12	下関	長府病院	60 一般 60	60 慢性 60	60 慢性 60														・障害者の受け入れ、レスパイト等で貢献していく。 ・介護医療院への転換が可能となったときは、介護医療院。	60 慢性 60					
13	下関	済生会豊浦病院	275 一般療養 189 86	275 急性回復慢性 144 45 86	275 急性回復慢性 144 45 86	45 地ケア 45													・高度急性期医療は主に下関市内4大病院が担っており、当院では主に急性期～慢性期、在宅を担う。 ・当院入院患者の疾患は多岐に亘っており、当該区域唯一の総合病院として、幅広い疾患に対応している。 ・救急医療については、多くの救急患者を受け入れ、当該区域で当院が果たしている重要な医療機能の1つ。 ・下関市北西部をエリアとする唯一の基幹病院として、二次救急にも対応し、急性期の医療の質を確保するとともに、地域の高齢化に対応するため、回復期・慢性期・在宅の充実が必要とされている。 ・公的病院として、併設する下関市豊浦地域ケアセンターと共同して事業を進め、地域包括ケアシステムの構築を目指していく。 ・一層地域医療へ貢献するため、急性期を担う下関市内4大病院との関わり・連携を強化するとともに、回復期機能の充実を検討する。	275 急性回復慢性 144 45 86					



